

トマス・アキナスの倫理思想（中世研究 第11号）

上智大学中世思想研究所編

創文社刊 1999年



【収録論文】

人格の理性的自己形成——トマス・アキナスの倫理学の存在論的・人間論的構造 K・リーゼンフーバー

人間知性に関するトマス説の倫理学的性格 水田英実

倫理学の基礎としての幸福論 R・L・シロニス

トマスにおける自由について 宮内久光

「本意論」と「状況理論」のめざすもの——トマス・アキナスの倫理学より

藤本温

神の摂理と人間の自由 脇宏行

トマス・アキナスの情念論 大谷啓治

トマスにおける人間的なはたらきと徳 渡部菊郎

トマス・アキナスにおける枢要徳 J・フィルハウス

人間の受動的完全性について——トマス・アキナスの「賜物」(donum)論に
関する一考察 加藤和哉

トマス・アキナスにおける「それ自体として逸脱した行為」 宮川俊行

トマス・アキナスのカリタス論——友愛としてのカリタス 桑原直己

トマス・アキナスの労働概念について 小関秀男

愛と観想——トマスにおける霊的生活の概念 稲垣良典
